

教育委員会 3月定例会会議録

平成 27 年 3 月 26 日（水）

9：30～11：00

創遊館会議室

出席委員 1 番 小林道和 委員長
2 番 児珠孝童 委員
3 番 鈴木良子 委員
4 番 五十嵐義一 委員

職務のため出席した者の職氏名

教育長 安藤昭郎
教育文化課長 松田勝美
主幹 山口義博
主査 佐藤 修
課長補佐 長岡 勉（書記）

1. 開 会

教育文化課長の進行により開会及び小林委員長のあいさつ

2. 会議録署名委員の指名

3 番 鈴木良子 委員を指名した。

3. 前回までの会議録確認

委員長が 2 月定例会会議録について提案し委員に諮るも全員異議なく承認

委員長が 3 月臨時会会議録について提案し委員に諮るも全員異議なく承認

4. 教育長の委任事項の報告

(1) 日程的な事項 報告

(2) 当面の日程 報告

委員長 3 月 8 日開催の西村山子ども会育成協議会研修会の内容はどのようなものか。

課長 キャンプ協会の方から外遊びについて講演をいただき、その後各市町村の役員で総会を開催し次年度の計画等を協議したもの。

5. 報告事項

(1) 平成 27 年度学校教員の異動について

主幹 別紙資料により説明。

委員長 初任研後補充の年間配置日数が小学校と中学校で違うのはどうしてか。

主幹 小学校については、グループ研修となっているため配置日数は少ない。中学校については学校独自の研修となるため多くなっている。

(2) 平成 26 年度朝日中学校卒業生進路先について

主幹 別紙資料により説明。

委員長 中学校卒業生全員の進路については全員が決まったのか。

主幹 全員の進路先が別紙のとおり決定しました。

(3) 平成 27 年度学級編成について

補佐 別紙資料により説明。

2 番委員 西五百川小学校の複式学級は来年度進級しても続くのか。

主幹 現在の人数が変わらなければ卒業まで複式となります。

委員長 中学校の今年度卒業生が 5 4 名で平成 2 7 年度入学生が 6 4 名であれば 1 0 名増と思うが、8 名増の理由は。

主幹 現進級する学年の生徒 2 名が他市町に転出したためです。

(4) 区域外就学の許可について

補佐 別紙資料により説明。

6. 附議事件

議第 19 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

課長 別紙議案書により提案した。

補佐 別紙資料により説明。今回の認定については継続申請の重要保護認定で、1 6 名の申請があり審査の結果 2 名が非該当であり 1 4 名を認定したい。新規申請については 4 月以降の認定になる。

委員長 委員に諮るも異議なく承認

議第 20 号 平成 27 年度朝日町立小・中学校の校医等の委嘱について

課長 別紙議案書により提案した。

補佐 別紙資料により説明。平成 2 6 年度と同じ先生に校医等を委嘱したい。

委員長 委員に諮るも異議なく承認

議第 21 号 朝日町被災児童生徒就学援助費支給要綱(案)について

課長 別紙議案書により提案した。

補佐 別紙資料により説明。援助費については国からの補助金が 1 0 分の 1 0 となっている。

委員長 該当児童はどここの地区に住まれているのか。

補佐 大暮山地区であり、今年度大谷小学校に入学される。

委員長 委員に諮るも異議なく承認

7. 協議事項

(1) 平成 2 7 年 4 月教育委員会臨時会を 4 月 1 日(水曜日)午前 1 2 時 4 0 分から創遊館で開催することを確認した。

(2) 平成 2 7 年 4 月定例会を 4 月 2 4 日(金曜日)午後 3 時 0 0 分から創遊館で開催することを確認した。

7. その他

(1) 児童生徒の通学方法の見直しについて

補佐 平成 2 6 年度地区毎の通学の状況及び近隣市町村の状況について説明

課長 3月定例議会でも一般質問で和合地区の生徒について冬期間だけでもスクールバス等で通学できないかという質問があり、議会では和合地区以外からもスクールバス等の要望があるため平成27年の秋頃を目処に教育委員会で協議したいと答弁した。先の教育委員会で3月ころまでに検討いただくこととしていたが、まだ素案が出来ていないことと、4月から委員体制も変わることから、新体制となってから改めて検討いただきたい。

委員長 通学については安全の面と教育的部分がある慎重に検討しなければならない。

以上、協議し、11時00分に3月定例会の会議を閉じた。

閉 会

会議録署名委員

委 員 長

調 整 委 員 長 岡 勉